

第1回もも脳ネット コアメンバー会議 議事録

日時：平成22年8月25日（水） 19:00～

場所：岡山赤十字病院 センター棟研修室

出席者：岡山医療センター（大森 Dr、鳥越 Ns、川崎 Ns、渡利 PT、木戸 MSW）

岡山協立病院（清水 OT）

岡山旭東病院（中嶋 Dr、原田 Ns、片岡 PT、野間 OT、藤田 ST、片岡 MSW）

岡山県歯科衛生士会（小橋歯科衛生士、松尾歯科衛生士、武田歯科衛生士）

岡山光南病院（西崎 Dr、松井 Ns、内山 Ns、下山 ST、齋藤 MSW、西村 MSW）

岡山市歯科医師会（友澤歯科 Dr、相坂歯科 Dr）

都窪歯科医師会（山本歯科 Dr）

岡山赤十字病院（井上 Dr、片岡 Dr、三宅尚美 Ns、徳永 Ns、三宅裕子 Ns、小幡 PT、
工藤 ST、内藤 MSW、石原 MSW）

岡山中央奉還町病院（小島 Dr、宮島 OT）

岡山リハビリテーション病院（森田 Dr、坂本 Ns、井上 Ns、足立 ST、山崎 MSW）

岡山労災病院（片山 Dr、坂本 Ns、小倉 Ns、中野 PT、松下 MSW）

佐藤病院（金光 PT、石光 PT、宇民 MSW）

竜操整形外科病院（北 PT）

1. 維持期への周知方法

- ・ 県内のケアマネや医師会にも在宅パスの情報は伝わっているはずだが周知に至らず、運用も一部で試験的に行っているのみ。回復期病院からの働きかけのみでは限界がある。
⇒もも脳ネットからも県ケアマネ協会や医師会にアナウンスをしていく必要あり。回復期と在宅グループで周知を図るための日程を検討してはどうか。（秋頃）
- ・ 開業医やケアマネもコアメンバーに入ったほうがよい。
- ・ 在宅パス関係者との合同会議の方法、場所
⇒もも脳ネットでどこまで話し合うべきか。医療保険の範囲内か、介護保険も含めてか
⇒医療保険・介護保険どちらも含めてが理想ではないか。

2. 在宅パスの今後の展開

- ・ 回復期→維持期に算定がついたが届出手続きの煩雑さや、開業医側の関心の低さ等が要因となり、ほとんど連携・算定に至っていないのが現状。今後の維持期病院への周知と働きかけが課題である。

3. 県南西部との合同会について

- ・ 倉敷市および県北より合同会の打診あり。岡山赤十字病院 井上医師が出向き検討を重ねていく予定。

4. マニュアルの見直し（頸部骨折・脳卒中の統一も含めて）
 - ・問題点や改善点を挙げ、事務局あてにメールで意見を集約。まず土台を作り、問題点の解決を図る。
 - ・従来のマニュアルでは頸部骨折パスと脳卒中パスの情報提供方法が異なっている。脳卒中との統一を図ろうとすると、頸部骨折は医師の情報提供書が1通増える。急性期整形外科医の合意も必要なので今後の検討課題とする。

5. オーバービューパス改訂
 - ・脳卒中：県のホームページ上にアップ済。各医療機関にも通知文書送付済。
 - ・頸部骨折：脳卒中の書式に合わせた改訂版を倉敷中央病院に作成依頼済。

6. その他
 - ・「県南東部脳卒中医療連携の総合的な体制整備促進事業」について
メインの事業として県民フォーラムを実施予定。候補日時は平成23年1月8日(土)、会場は山陽新聞本社1階さん太ホールを仮予約。講師は未定。
委託金の一部でファイル、CD等を購入してはどうか。
 - ・頸部骨折の連携ファイルの可否⇒あったほうがよいとの意見あり。

【次回】 平成22年9月22日、9月29日、10月6日のいずれかで。場所は医療センター。
決まり次第ホームページでアップ予定。

【提案事項】 次回の会の形式について、コアメンバー全員の意見が反映されるように、最初に議題を提示し、各職種で話し合った後、全体で報告・議論するというのはどうか。